

平成22年10月31日(日)

## 第3回「森林ボランティア養成講座」開催

10月31日(日)、今年度第3回目の「森林ボランティア養成講座」を雷別国有林及びパイロットフォレストで開催しました。今回は、「広葉樹タネの採取(ミズナラ)」、「キノコの観察会」と題して実施しました。

「広葉樹タネの採取」では、前回設置したシードトラップからミズナラのタネ(ドングリ)を採取しました。完全に熟さないうちに風で落ちてしまったドングリ、すでに根を覗かせているドングリなど様々でしたが、たくさんのタネを採取することができ、来春の苗木作りが今から楽しみです。

午後からはパイロットフォレストに場所を移し、「キノコの観察会」を行いました。講師には、北海道キノコの会会員の奈良氏を招き『キノコと森について』と題してパイロットフォレストの遊歩道を利用して行いました。同じキノコでも、発生している場所や環境で全然違うキノコに見えたり、全く違うキノコなのに同じに見えたりとキノコを見分ける難しさを教わりました。また、キノコは、森の中にある切り株や倒木、動・植物の死骸、落ち葉や木の枝などを分解して土に戻し、新しい樹木の栄養源を供給する重要な役割を担っていることも学びました。

参加者の皆さんは、午前中は自然再生のお手伝いを行い、午後からは森林の楽しみ方を経験されたことと思います。

(自然再生指導官 朝倉基博)



望楼から見たカラマツの黄葉(ちょうど見頃でした)



シードトラップからドングリを集める



奈良さんのキノコの解説を聞く



奈良さんのキノコの解説を聞く